

令和6年度 第5回いなべ市総合計画審議会 会議録

会議名	令和6年度 第5回いなべ市総合計画審議会
開催日時	令和6年11月6日(水) 14:00~16:00
開催場所	いなべ市役所シビックコア棟 研修室2, 3, 4
出席者	<p>【委員】19名 丸山康人(会長)、林伸一(副会長)、佐々木文昭、田中佳奈、嶋田義光、服部純子、東海林玲子、福本美津子、中村弘樹、一木尚子、小林久里子、相田直隆、位田あけみ、三輪孝、高木修司、山本たか代、伊藤和雄、伊藤六榮、伊藤章子、近藤雄司 欠席 相田直隆</p> <p>【事務局】19名 山下正史(副市長)、近藤栄人(総務部長)、大川洋海(都市整備部長)、伊藤ひろ(市民部長)、岩田長司(環境部長)、岡真水(福祉部長)、出口美紀(健康子ども部長)、若松辰彦(農林商工部長)、太田東洋(建設部長)、寺本靖彦(水道部長)、伊藤功(教育部長)、三好宏尚(会計管理者)、市川久春(議会事務局長)、中村政紀(監査委員事務局長)、出口和典(企画部長)、小谷直仁(政策課長)、児玉吏(政策課)、堀田彰宏(政策課)、西尾みずき(政策課)</p> <p>【オブザーバー】小林直樹(㈱ジャパンインターナショナル総合研究所)</p>
会議次第	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 説明及び審議事項 (1) いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて…資料1 (2) 基本構想について…資料2 4. 次回の会議について 5. 閉会</p>
配布資料	<p>資料1…第3次いなべ市総合計画基本構想策定スケジュール 資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想(案) 当日配布資料…第2次いなべ市総合計画冊子、概要版(学校用)、元気みらい都市いなべコンセプトブック</p>
公開、非公開の別	公開
議事概要	
<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ 【丸山会長】 ・基本構想の審議も8割方、進んできました。前回の審議会のご意見を踏まえて、修正できるところは直していただきましたので、本日もご意見をお願いします。それでは、事項にそって進</p>	

めます。まずは、毎回お願いしていますが、スケジュールの確認をお願いします。

### 3. 説明及び審議事項

#### (1) いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて

##### 【事務局】

- ・資料1…第3次いなべ市総合計画基本構想策定スケジュールについて説明。

##### 【丸山会長】

- ・ありがとうございます。それでは続いて、3. 説明及び審議事項の(2)基本構想について、事務局より説明をお願いします。

##### 【事務局】

- ・資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想(案)第1章から第4章までの修正箇所について説明。

##### 【丸山会長】

- ・前回、皆さんからご意見をいただき、事務局と私で検討し、修正した内容となります。可能な限り、皆さんのご意見を多く反映させ、こういった形で整理をしました。何かご意見があればお願いします。

##### 【委員】

- ・事前に送っていただいた資料を熟読しておけばよかったのですが、基本理念を支える共通の視点等について、なかなか、内容が追いつかない方もおられたと思いますが、今の説明で、理解できましたというぐらいしかいえませんので、申し訳ございません。ありがとうございます。それから1つ、本日配布していただいた学校用の概要版は、事前に学校に行き渡っているのでしょうか。

##### 【事務局】

- ・こちらは、第2次総合計画が完成したときに作成した冊子です。今回も、来年度に総合計画が完成した後に、3月には学校に配布したいと思います。

##### 【委員】

- ・私も、学校関係に関わっているので、前回、これをいただいたときに、少し学校で話をした経緯がありました。自分の知らないことを少しでも理解できたという子どもたちからの声をいただいた気がします。これをまた新しく、今のいなべ市の総合計画ということで作り変えていただければと思います。

##### 【丸山会長】

- ・これと類似するものを、総合計画の完成の折には、もう一度作り変えるということで、本日は参考のために配布していただいたと思います。これについて、もうちょっと工夫をしてほしいであるとか、そういうことはいつかいただいていると思います。前回、漫画を検討して欲しい

というような意見もあったので、そういうことも含めて、これから具体的に検討していくことになると思います。

**【委員】**

- ・それに関連してですが、細かい話ですけれども、この冊子に、四日市の山の写真が掲載されておりまして、いなべ市には、もっと素晴らしい藤原岳や竜ヶ岳といった山々がありますので、次回、冊子を制作する際には見直しをお願いします。

**【丸山会長】**

- ・貴重なご意見いただきまして、他の都市の写真を使わないようにということでございますので、よろしくをお願いします。

**【委員】**

- ・計画策定後に概要版が配られるということですが、これを使って、高校は無理かもしれませんが、小学校、中学校で授業を行うというようなことは考えていませんか。

**【事務局】**

- ・今回、初めて高校生のワークショップをさせていただき、基本構想も間もなくでき上がるということで、1月にどういった進捗でここまで来たのかということ、高校生にフィードバックしたいと考えております。小中学生についても何らかの形でお返ししていければいいのかなと思っておりますが、ご意見いただいたこと踏まえて検討させていただきます。ありがとうございました。

**【委員】**

- ・せっかくこういうものを、子どもさんにもわかりやすく作るということなので、小学生や中学生にも、授業等で活かせるようにお願いしたいと思います。

**【丸山会長】**

- ・しっかり検討していただいて、小学生にも中学生にも反映できるような形をお願いします。

**【委員】**

- ・見やすさのところで、19ページの近年の取組をグラフで表記されているのですが、黒い四角の凡例がもう少し大きい方が、斜線やグレーの色がわかりやすくなると思います。また、周知啓発を進める必要があるというのであれば、前回の小学生にお配りした概要版では、グリーンクリエイティブいなべのことが掲載されていますが、今回は、フェアトレードやSDGs、ゼロカーボン等もこういう形で冊子に掲載すると周知にはよいと思いますので、よろしくお願いします。

**【丸山会長】**

- ・ご指摘ありがとうございます。今の点については、きちんと検討させていただきます。

**【委員】**

- ・事前にいただいた資料の15ページで、重要度と満足を、わかりやすく表示していただいたと

思います。その中で、重要度が高くて、満足度が低いAエリアに、やはり道路や公共交通の項目がたくさんありますので、それを受けての文章が少し弱目かなと感じました。25ページのまちづくりの基本方針のところの、「自然を改めて大切にしながら、暮らしと自然が調和した、快適で安心、安全なまちづくりを継続します」というところの、安心安全に含まれているのかなという気はするのですが、自然等の地域の資源を積極的に活かして、若い人たちが、安息を感じられるっていう構想はすごくよいのですが、市民が一番に感じている課題を行政もしっかりと受けとめて、そこを何とかしていくんだという決意を、将来像の中に入れていただけたら、皆さんの意見をしっかりと吸い上げたものになると感じました。それから、基本理念があり、将来像がありと、キャッチフレーズが多く、どれも素敵なのですが、今日いただいた資料にも、元気みらい都市いなべというものがあり、イメージがバラバラしてしまって、私だけかもしれないのですが、どういう思いでキャッチフレーズがこうなっているということが伝わるといいなと思います。

#### 【丸山会長】

- ・ 2点ありましたが、1点目は、書き込みの仕方についてさらに検討をということですが、これは、具体的な事業との関わりもあるのかもしれませんが、まず、事務局から1点目についてお願いします。

#### 【事務局】

- ・ 先ほど14ページのところで、重要度が高く、満足度が低いということで、公共交通のお話がありましたが、以前もお話させていただきましたが、他のアンケートでも公共交通の結果がよろしくないことは承知しております。25ページの将来像の中で、安心、安全なまちづくりをしますという表現は、確かにおっしゃる通り、力強さに欠けるのかなと思いますが、将来像に位置付けられるかどうかは検討させていただきますが、その後の第6章で、各分野における方向性、今後の意気込みにふれておりますので、具体的な記載はそちらも含めて検討します。

#### 【丸山会長】

- ・ この後、35ページあたりでもインフラの整備等については記載されていますが、可能な限り公共交通の利便性を高める努力は行っているのだと思います。市の単独の事業ではないという問題等もあって、それでも、いなべ市は頑張っている感じはするのですが、将来像のところで触れて欲しいということについては、事務局も含めて検討させていただくということをお願いします。ただ、35ページあたりで、インフラの整備等についてはしっかりと記載されているので、それはご理解をいただきたいと思います。もう一つ、キャッチフレーズが多くて、どれがどれだかわからないということですが、少し整理していただいて、今回の違いはどこにあるのかということを示してもらえればと思います。

#### 【事務局】

- ・ この後にも、説明しますが、第2次総合計画では、重点プロジェクトとして、国が定める総合戦略の人口減少対策に取り組んできました。第3次総合計画では、37ページにありますように、重点取組事項として、いなべ市が全国に先駆けて取り組んでいる宣言等を中心に掲げております。グリーンクリエイティブいなべは、にぎわいの森等の取組になりますし、フェアトレードタウンは、全国6番目に宣言をして認定を受けたという経緯がございます。SDGs未来都市の推進は、国のモデル事業に選定され、いろんな交付金を入れて推進している事業になります。

チャレンジ・カーボンニュートラルいなべの推進は、二酸化炭素をゼロにすると表明した自治体に限ってゼロカーボンシティ表明という形で位置付けられており、菰野町と定住自立圏構想を締結して、一般廃棄物の処理施設を共同でつくったら財源も確保でき、脱炭素、二酸化炭素の実質ゼロを目指す方向としてもよいのではないかといい、推進しているところです。元気みらい都市いなべの推進ですが、元気づくりシステムという高齢者を対象としたいいなべ市の取組が高い評価を受け、広く全国各地で展開されています。今後は、幼児から高齢者まで一体となって推進することが必要ではないかということで、令和3年度に、このコンセプトブックができました。最初のいなべ市総合戦略の推進は、国の取組であり、どの市町でもやっていることですが、2番から6番までは、いなべ市がこういった宣言や取組をやっているんだというもので、他市町にはありません。こういったことを、第3次総合計画では、重点取組事項の中にすべて入れ込もうということによって構成しています。

#### 【丸山会長】

- ・これまでと今回で違うのは、いなべ市の歴史や文化も含めて、愛着を持てるようなまちづくりを行っていく段階に入ってきたということ、かなり意識して構成されていることです。その中で、「好き」が、あふれる。『わたしのまちいなべ』という将来像の案を出していただいたと、私は認識しています。三重県の中でも、全国的にも、いなべ市の高齢者や子どもに対する各種事業は、結構、有名なものがあって、かなり成果を上げているというふうに私も認識しています。--委員とも委員と一緒にやった記憶がありますが、かなり充実した成果が出ていると思います。今回の総合計画は、それぞれ段階は踏んでいるのですが、タイトルがずらっと並ぶと確かに、どれがどれだったか、私自身も忘れてしまうこともあります。今回は、合併してから20年が経過し、1つの市としての誇りを持てるような、そして、小学生や中学生は合併する前のことは知らないわけですから、それ以降に生まれて、いなべ市の市民として生きてきたわけですから、そういった意味で、誇りを持てるまちづくりを進めていくという段階に入り、「好き」が、あふれる。『わたしのまちいなべ』という形が、上がってきているというふうに理解しています。

#### 【委員】

- ・先ほどの意見に関連しますが、第2次総合計画の15ページに、市民の方が考える課題というものがあります。先ほどの公共交通機関の利便性や医療体制の充実など、いなべ市民の目線で見たときに、第2次から第3次になっても課題が変わってないということが、やはり懸念事項だと思いますので、先ほどの話とも関わってくるのですが、こういうことも踏まえて、いなべ市としてしっかりと取組をやっていくんだよということ、是非、強調していただけたらいいかなと思います。第2次総合計画ですと、68ページに公共交通の充実、120ページに地域医療体制というふうに記載がありますが、全く同じ状況ではないかと思っておりますので、是非、ご検討いただきたいなと思います。

#### 【丸山会長】

- ・今、2人の委員から意見が出ていますので、公共交通という、先ほどもいったように市単独では限界もありますが、市として取り組めるような事業もないわけではないと思うので、そういったことも含めて、第4章の2節にその辺について少し書き込みをしてもらえないかということだと思いますので、検討してみてください。

**【委員】**

- ・25 ページで、「好き」が、あふれる。というのがいいなと思って読ませていただきました。下から3行目にいなべ市に「好き」があり、という文章がありますが、こちらも「あふれる」の方がよいのではないかと思いますのでご検討をお願いします。

**【丸山会長】**

- ・貴重な意見ありがとうございました。これは、文章の修正をお願いします。それでは、基本構想の第5章以降について、事務局より説明をお願いします。その後、時間の許す限り、1章から4章も含めた関連性の中からも結構ですので、ご意見がありましたら伺うようにします。

**【事務局】**

- ・資料2…第3次いなべ市総合計画基本構想（案）  
第5章、第6章について説明。

**【丸山会長】**

- ・ありがとうございます。最終的に、これができ上がれば議会の議決事項となり、そこから先については議決事項ではありません。この基本構想は、個別具体的な事業の目標にあたる部分で、これに基づいて、それぞれの事業を実施していくということになります。今の説明に関して、専門分野等に関わる、自分の関わりのあるような部分からご意見をいただければと思います。

**【委員】**

- ・ここまでは将来的な方針ということで、この後、各分野で方針や数値などが細かくできてくると思うのですが、そういったものも作っていくという認識でよろしいですか。

**【事務局】**

- ・令和6年度は基本構想の検討で、令和7年度からは、各分野に分かれて、委員の皆さんと担当部署が、この課題に対してどう向き合っていくのかというのを基本計画の中で決定していきます。

**【委員】**

- ・最終的に、そのできたものを市民の皆さんに周知していただく機会はあるのでしょうか。

**【事務局】**

- ・最終的にできあがった際には、広報誌 Link で説明を交えて周知させていただきます。

**【委員】**

- ・分野ごとの内容についても配布されますか。

**【事務局】**

- ・広報誌リンクで、どこまで紹介するかというのがありますが、皆さんから気になっている重点とされている点は、当然、伝えていきたいと思えます。

**【委員】**

- ・せっかく推進方針を作られるのであれば、市民の皆さまにもある程度やっぱり分かっていただけの方がいいのではないかなと思います。

**【丸山会長】**

- ・もちろん、計画全体については公表し、なおかつ、これまでの流れからいけば、各種事業についても毎年度チェックしていきます。この委員会から全員が参加するかどうかは、わかりませんが、市民の代表がチェックをして、それを公表していくという形になりますので、計画の策定が終わったからといって、市民の手が離れるわけではありません。

**【委員】**

- ・32ページの(3)広報広聴について、インターネット等の情報発信に注力されているのは感じるのですが、広聴というところが少し引っかかりました。市民から広く声を聞くという部分の記載がなく、発信だけの内容になっているため、何かもう少し、検討していただければと思います。

**【企画部長】**

- ・広聴に関しては、市民のご意見を賜るということで、ホームページからご意見いただくような形になっていますし、広報誌 Link でもご感想をいただく形としていますので、そうしたことも踏まえて広聴についても記載していきます。

**【丸山会長】**

- ・具体的な事業とも関連させながら、こういった内容を書き込むか検討してください。

**【委員】**

- ・26ページの人口推計では、2035年に41,308人となっておりますが、その上に赤字で43,000人と目標が書かれております。推計値よりも人口を伸ばしたいという中で、29ページを見ると、いなべ市の歳入、歳出が出ていますが、予算規模は減っています。そういった、あまりよろしくない状況の中ですので、何か人口増をうたえるようなものを入れていったらよいのではないかと思います。例えば、具体的に農林水産業や産業振興などの対策を記載して、人口が増えますよと分かるような書き方にしてはどうかと思いますがいかがでしょうか。

**【事務局】**

- ・社会保障人口問題研究所というところが、令和5年12月に、2050年までの将来推計人口を発表しています。国勢調査に基づいて推計し、発表しているものですが、過去の推計を見ても、結構、厳し目に出ているということもあります。これは、何もしなかったらこういう状況になりますよというものだと思っておりまして、これまでもいなべ市の人口の推移は、社会保障人口問題研究所の推計を上回っています。今後、東海環状自動車等が全線開通しますので、これを機に、市長もいわれていますように、いなべ市のチャンスととらえつつ、人口ビジョンの目標数値との整合もふまえて、人口の目標を43,000人としました。

**【丸山会長】**

- ・社会保障人口問題研究所というのは、ほぼ政府の機関のようなところで、全国の各自治体でも

これに基づいて人口の見通しを出しています。それに対して、それよりも上を目指していくということです。最近、いなべ市は、人口減少を抑制しているという意味では、生き残れる自治体として位置付けがなされているということで、かなり評価されていると思います。立地もいいですし、それからさっきいったように、いなべインターチェンジができるとか、そういったことによって、チャンスも拡大してきます。その辺をにらみながら、交流人口を増やし、そして定住人口の減少を抑制していこうという施策を既に大量に打ってきていますので、その辺がうまくいけば、数字になって出てくるのだろうというふうに認識しています。計画としては、日本全体の人口が減っているわけですから、いなべ市だけが増えていくというのは非常に難しいので、そこは、どう維持していくかということで、力を入れながら、既存のチャンスを活かしながらやっていくのだろうと思います。こういった形でご了解いただきたいというふうに思います。よろしいでしょうか。他にはいかがでしょう。

#### 【委員】

- ・35 ページで、4 自然と調和した安心安全なまちとある中で、安心安全の内容が、6 防災、防犯の中で1つにまとめられているのですが、直近のいろんな自然災害などを踏まえると、ちゃんと防災は防災で、もう少し具体的に記載して、これを見た人が、ちゃんと防災のことをやってくれているんだと感じるような具体的な中身にしないといけないと思いました。防犯も、ここ最近のニュースで流れているように強盗があったりとか、そういった中で、今、記載されてる防犯灯等の内容だけでは、本当に防犯は大丈夫なのかなという印象があるので、ここは、6 防災な7 防犯というような形でしっかり分けて記載するのがふさわしいのではないかと感じました。それから、36 ページのにぎわい・愛着 創生のまちの中で、4 行目に、学習やスポーツ、文化芸術活動の記載がありますが、これに関係した内容は、33 ページの2「こどもまんなか」の学びと育みのまちの部分になると思いますので、ご確認をお願いします。

#### 【事務局】

- ・まず1点目の、34 ページの防災、防犯は、かなり重要なのかなと思いますので、ここは修正を検討させていただきます。そして、36 ページのにぎわい・愛着 創生のまちの中に、学習やスポーツ、文化芸術活動の記載がある点についても、ご指摘の通りですので、修正させていただきます。

#### 【委員】

- ・先ほどの広報広聴のところですが、FMいなべで、保育士が子育て応援しますという形で、週2回、金曜日の13時から15分と、再放送として9時45分から15分、それから18時45分から15分ということで、子育てのお話をしています。私も聞かせてもらったのですが、すごくためになり、改めていろんな気づきがありました。広報広聴ということで紹介させていただきました。

#### 【委員】

- ・30 ページの土地利用構想ですが、中心市街地と地域拠点、産業拠点、緑の拠点とあります。いなべ市には随分と土地を利用するところがあります、素晴らしいところがあります。次の35 ページにも土地利用というところがあります。お米もできあがってきて、今、大変な時期です。農地も大掛かりな土地整備をしてきましたが、10年たったなら自由に売買できると市民の方は思っていました、10年たっても自由にできないということです。国の農業振興の関係か、よく



わからないのですが、市長さんのお話を聞きますと、農業振興のために耕地整備したところでは自由にできるところと、できないところがあると、最近、教えていただきました。私たちにもわからないような制度の説明についても、わかるようにしていただくと、農業を営まれる方も安心できると思います。30ページの土地利用構想で農業についてうたわれていないことも寂しい思いをしています。35ページの土地利用で、さらりと書かれてはいますけれども、もう少し、どうすることもできない土地や売ることのできない土地のことを検討していただきたいです。草が伸び、防犯上もよくないので、大事なことだと思います。もう1点だけ、地域との連携ということで、定住自立圏について、6月の終わりでしたでしょうか、菰野町といなべ市が提携をすることになりました。定住人口のためにということですが、今、大きなごみ処理場の話が進んでいます。菰野町もいなべ市も老朽化しているものを一つにするということです。ごみ処理場ということが分からないような素晴らしい公園のような施設ですが、提携して最初に取り組むのがごみ処理場ということです。

#### 【事務局】

- ・1点目の、土地利用構造ですが、おそらく、農業振興地域として整理をしたものが自由に使えないということと、一方で、都市計画マスタープランといったもので用途地域や市街化調整の開発地域というものを定めることによって、農業振興地域から外るといったこともありますが、もう少し、こうした部分について丁寧に記載した方がよいのではないかと、ということよろしかったでしょうか。

#### 【委員】

- ・そうですね。そういうことを知らなかったという住民の方が多いので大事な事だと思います。

#### 【事務局】

- ・そういったことを、もう少し、どうしたら外れて、どうしたら継続してとか、そういった辺りも、何かわかるように行政で対応を、ということですね。それからもう1点、定住自立圏の話がありましたが、基本構想と同じような計画をこの1年間、並行してつくってきましたが、先日、計画ができ上がり、この11月1日から31日まで、パブリックコメントをホームページ上で実施しています。広報誌でも、11月号に掲載し、ご意見を募集しています。菰野町との定住自立圏がごみ処理からはじまったというのは事実として、厚労省から老朽化している施設と一緒につくれば半分で済むのではないかと意見もあり、是非ともいなべ市と定住自立圏を組みたいということでした。それ以外にも、同じような課題を抱えており、公共交通でいなべ市に乗り入れるといった話もあります。今、すぐにそれがかなうかと難しいところですが、今後、一緒にやっっていこうという計画を、20項目にわたって連携していこうということで、今、ホームページを見ていただくと、計画が公表されています。

#### 【委員】

- ・安全性への配慮をお願いします。

#### 【丸山会長】

- ・まだ、検討の段階ということで、決定はしていませんが、パブリックコメント等で公表はされているということです。他にはいかがですか。

#### 【委員】

- ・27 ページの、交流人口の最後の文章ですが、人口減少社会においても、まちの活力を向上させるために、観光や通勤通学のみならず、と、あるのですが、通勤、通学という言葉が入ること、ちょっと文章的に、何か、少し引っかかったのでご検討をお願いします。

#### 【事務局】

- ・おっしゃるとおりだと思いますので、修正させていただきます。

#### 【丸山会長】

- ・文章は検討していただくとして、この交流人口のデータを見ると、増えてきていますよね。交流人口が増えるということは、いなべ市を知ってもらうことになるわけだから、定住してもらえる可能性も高くなるわけです。知らないで、突然、定住するということはあまりないので、そういった意味では、交流人口をいかに増やすということは、非常に重要なポイントだと思います。

#### 【林副会長】

- ・まず、26 ページの人口のところですが、先ほどのご説明でいえば、人口ビジョンで設定した目標値を採用するという話だったと思うのですが、※印の表現を見ると、本計画の目標値と整合を図るもの、とあるので、人口ビジョンの目標値である 43,000 人としますとか、そういった表現にさせていただく方が正確なのかなと思いますので、検討してください。次に 29 ページの、表が非常に見づらいというか、ちょっとぼやけていて、歳入の中にある赤いところの文字がほとんど読めないで、印刷製本の際には綺麗な状態でやられると思いますけど、そのあたりはご考慮いただければと思います。おそらく読めない人がほとんどかなと思いますのでお願いします。細かいところが続くのですが、30 ページ、土地利用構想で、前回の総合計画のときもそうですが、都市計画マスタープランのイメージ図を載せるところが他の団体でも多いのですが、道路の整備や鉄道線、中心市街地とか、ちゃんと地域が決められているのであれば、今のままだと、どこが産業拠点であるといったことが全然わからないので、イメージ図があった方がよいと思います。次に、先ほどもご意見がありましたが、33 ページの、2 番の「こどもまんなか」の学びと育みのまち、ですが、下の文章を読むと、子育てとか、教育関連になっており、スポーツ、文化芸術、自然環境という項目も、この中に入れるのであれば、上の文章を工夫して、下の項目と整合性を図るような形で修正していただけるといいかなと思いました。最後に、37 ページの重点取組事項のところですが、2 ページ目に三角の図があって、社会潮流に対応した新たな取組ということで、第 2 節の 32 ページにも少し書いてはありますが、新たな取組というところなので、例えば、グリーンクリエイティブいなべとかフェアトレードタウンといったものは、そうなんだろうなと思うのですが、1 番目のいなべ市総合戦略が、どうしても微妙なところで、粒の大きさが違いますし、意味しているところと違うのかなと思います。総合戦略の推進と他の項目のバランスが取れていないことについて、表現の仕方を工夫していただくとよいのかなと思います。

#### 【事務局】

- ・林副会長のご指摘を踏まえて修正させていただきます。最後の重点取組事項の総合戦略と 2 番から 6 番の項目についても、ご意見を踏まえて工夫をさせていただきます。

**【林副会長】**

- ・もう1点お願いします。32ページの基本目標の分野ごとの掲載内容です。先ほども、広報広聴の話がありましたが、ここに並ぶ分野、例えば、教育やスポーツ、文化技術、多様性社会といったものと比べると、広報は、市がやるべきことなのでそもそもどう計画する意味があるのかという話も出てくると思うのですが、ただ、例えば、市民がこういう活動をやっていますよと、それを皆さんにお知らせしていくということであれば、広報でもいいと思いますし、広聴も、市民側からの話になるので、仮に、広報広聴を残すとすれば、そういった部分を強調して書いていただいた方が、よりよい内容になるのかなと思います。

**【丸山会長】**

- ・今の点も踏まえて検討してください。ご指摘ありがとうございました。本日も、たくさんのご指摘をいただいたので、これを一度、事務局で検討し、可能な限り変更、ないしは、ご指摘のように修正し、追加できるところは追加するという形をとらせていただきます。すべてを修正するという事にはならないと思いますが、全体のバランスも含めて、もう一度検討していただいて、次回、12月10日に、皆さんにもう一度ご審議をいただくということでお願いします。ただし、時間も限られているので、答申に関しては、次回の審議会の後、私が1人で市長にお渡しするということにしたいと思います。よろしいでしょうか。では、そういうことでよろしくをお願いします。本当に長時間、ありがとうございました。

**4. 次回の会議について**

**【事務局】**

- ・本日いただきましたご意見等は、計画の進捗状況とあわせて議会へ報告をさせていただくとともに、市のホームページでも公表させていただきます。次回の会議は、12月10日、火曜日、午後午後2時から、こちらの会場で開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。

**5. 閉会**

**その他事項**

- ・無し